



令和元年 10月6日(日)、総合教育センターで第5回かながわ教育学講座を開催しました。前半は大講堂で「インクルーシブ教育」の講義、後半は各教室に分かれてグループ活動が行われました。



第5回 かながわ教育学講座



インクルーシブ教育



元明星大学発達支援研究センター 京極 澄子 氏による「インクルーシブ教育 授業におけるユニバーサルデザイン」について講義を行いました。障害のある子と障害のない子が共に学び共に育つ仕組みがインクルーシブ教育であり、インクルーシブ教育を実現するためには、ユニバーサルデザインが欠かせません。そして、教育におけるユニバーサルデザインとは、学びにくさや発達障害のある子にとって、参加しやすい学校、わかりやすい授業であり、他のすべての子にとっても、参加しやすい学校、わかりやすい授業であるといえます。すなわち、どの子も、楽しく「わかる」「できる」「身に付いた」と言える授業づくりにつながるのです。



元明星大学発達支援研究センター
京極 澄子 氏

また、どの子にも参加しやすい学校、わかりやすい授業にするための工夫について、実際に教育現場で実践されている事例から話がありました。児童・生徒の参加する気持ちを促すために、場を構造化したり、ルールを明確化したりすること。授業のデザインをする際に、目標や活動をしばり思考が深まるように「焦点化」すること。視覚・感覚・動作を入り口にして思考できるようにする「視覚化」すること。話し合い活動を組織化し理解や思考を深めるようにする「共有化」することなど具体的な工夫があることを学びました。今後かながわティーチャーズカレッジで行う模擬授業で、取り入れたい内容がたくさんあったと思います。教育におけるユニバーサルデザインの視点をもって、どの子にとっても主体的で対話的な学びを意識し、深い学びにつながる授業を目指してほしいと思います。

特別支援学校教科書展示会



特別支援学校で用いられる教科書の展示がありました。文字が拡大されたもの、文字が少なく絵や写真がたくさん載っているものなど、普段はなかなか見る機会がない特別支援学校の教科書を、実際に手に取って見ることができました。特別支援学校の志望者だけでなく、多くの受講者が訪れました。かながわティーチャーズカレッジならではの貴重な体験ができたことと思います。

